

掛川市監査委員告示第1号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第1項及び第4項の規定に基づく定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を別紙のとおり公表する。

令和2年3月23日

掛川市監査委員 横山 茂 明

掛川市監査委員 鈴木 正 治

1 監査の種類

地方自治法第199条第4項の規定による定期監査

2 監査の対象、範囲及び監査日

部 課 名		監査日	対象範囲
企画政策部	市民課 IT政策課 市長政策室	令和2年1月22日	平成31年4月1日から 令和元年11月30日まで
	企画政策課	令和2年1月23日	
協働環境部	生涯学習協働推進課	令和2年1月22日	
	文化振興課	令和2年1月23日	
議会事務局	議会事務局	令和2年1月23日	
産業経済部	観光・シティプロモーション課	令和2年1月23日	

3 監査の方法

各課等から提出された資料に基づき、事前調査を行った上で、合規性・正確性のみならず、行政的視点も踏まえ、所属長及び関係職員から、予算及び事務事業の執行状況等の説明を聴取し、質疑応答により実施した。また、関係部長及び部政策室関係者からも、部内事業概要の説明を総合的に聴取した。なお、より効果的な事務の執行を図るために、次の事項について留意した。

- (1) 財務に関する事務の執行が正確かつ適正に行われているか。
- (2) 事務事業の執行が合理的かつ効率的に運営されているか。
- (3) 関係帳簿、書類等の記帳及び管理が適正に行われているか。
- (4) 公金の取り扱いが適正に行われているか。
- (5) 公共施設の安全管理及び衛生管理が適切に行われているか。

4 監査の結果及び意見

監査の対象となった予算及び事務事業については、概ね適正に処理・執行されているものと認められたが、一部において改善・検討を要する事項が見受けられた。各部署における監査の内容及び意見は、次のとおりである。また、監査の際に見受けられた軽微な事項については、関係職員に改善を要望したので記述は省略した。なお、監査委員が必要と認めた時は、指摘した事項について改善または検討した結果の報告を求めることがある。

企画政策部

市民課

1 事務事業の執行状況

(1) 委託事業

- ・ 4件のうち3件について委託契約書等関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 備品の管理状況

- ・ 備品台帳は整備され、適正に処理されていた。
- ・ 新規1件について現物確認したところ、適正に管理・活用されていた。

(3) 郵券等の管理状況

- ・ 郵券受払簿と現物を実査した結果、適正に処理されており計数は一致した。

(4) 公金マニュアルの運用状況

- ・ 2件の公金マニュアルの取扱について確認したところ、適正に運用されていた。

2 監査意見

- ・ 窓口業務における法改正や事務運用等変更の周知徹底を図れたい。また、問題発生時において迅速に対応する仕組みを再構築されたい。なお、朝礼だけでなく夕礼を実施するなどにより情報共有に努められたい。
- ・ 委託先職員と市職員の専門研修等を充実し、法令遵守で間違いがない業務遂行に努められたい。
- ・ 連雀出張所の閉鎖(令和2年3月31日)について、広報や折り込みチラシ等で更なる周知を図られたい。また、コンビニ交付の等の利用拡大のためマイナンバーカード取得推進にも努められたい。

IT政策課

1 事務事業の執行状況

(1) 委託事業

- ・ 33件のうち5件について委託契約書等関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 備品の管理状況

- ・ 備品台帳は整備され、適正に処理されていた。
- ・ 既存2件について現物確認したところ、適正に管理・活用されていた。

2 監査意見

- ・ 今年度、基幹システムのプログラム更新で印鑑証明発行の不具合があったが、委託した作業についても確認を確実に実行し、市民サービスに支障がない運用に努められたい。
- ・ 文書管理の基本ソフト更新については、既存文書の変換作業などの負担を軽減する対応策を講じられたい。
- ・ 個人情報や機密性の高い行政文書漏洩や紛失を防ぐ対策と、職員のコンプライアンス意識の向上について、必要な対策を講じられたい。
- ・ 市ホームページの更新にあたっては、見やすく利用しやすいホームページとなるよう期待する。
- ・ システム管理委託経費の総額削減について研究されたい。

市長政策室

1 事務事業の執行状況

(1) 委託事業

- ・ 3件のうち3件について委託契約書等関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 備品の管理状況

- ・ 備品台帳は整備され、適正に処理されていた。
- ・ 既存3件について現物確認したところ、適正に管理・活用されていた。

(3) 公金マニュアルの運用状況

- ・ 2件の公金マニュアルの取扱について確認したところ、適正に運用されていた。

2 監査意見

- ・ 事務処理等適正化委員会については、現場職員の意見を吸い上げ、原因をよく検証し、不適切な事務処理を生じさせない正確な事務執行体制を構築されたい。なお、将来的には内部統制の構築についても検討されたい。
- ・ 市民から寄せられた意見や苦情に対しては、できる限り早めに回答するよう努められたい。

企画政策課

1 事務事業の執行状況

(1) 委託事業

- ・ 9件のうち4件について委託契約書等関係書類を審査した結果、1件において支払い遅延があったため、適正に処理するよう指導した。

(2) 補助金等の交付

- ・ 3件のうち1件について補助金交付申請書等関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 備品の管理状況

- ・ 備品台帳は整備され、適正に処理されていた。
- ・ 既存1件について現物確認したところ、適正に管理・活用されていた。

(4) 郵券等の管理状況

- ・ 郵券受払簿と現物を実査した結果、適正に処理されており計数は一致した。

2 監査意見

- ・ 組織改編を毎年するのではなく、総合計画に則り複数年は同じ組織で事業を推進することも必要と考える。組織の形にこだわらず柔軟に連携できる働き方を研究されたい。
- ・ 公共施設マネジメントについては、早く計画を市民に示し多様な世代の意見を集め理解を得る必要がある。また、統廃合を要する施設については、全体とは分離してでも早めに決断し二重投資にならないように十分留意されたい。少子高齢化を見据え、コンパクトシティ化を進める計画を期待する。
- ・ 行政サービスの見直しや業務効率化を進めるには、手書き文字をデータ化するAI(人工知能)や定型業務を自動化するロボティック・プロセス・オートメーション(RPA)の導入は必須であるので、初期投資に係る経費や導入時の一時的作業の増加はあるものの長期的視野に立ち躊躇なく積極的な導入を進められたい。

議会事務局

1 事務事業の執行状況

(1) 委託事業

- ・10件のうち2件について委託契約書等関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 補助金等の交付

- ・7件のうち2件について補助金交付申請書等関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 備品の管理状況

- ・備品台帳は整備され、適正に処理されていた。
- ・既存3件について現物確認したところ、適正に管理・活用されていた。

(4) 公金マニュアルの運用状況

- ・3件の公金マニュアルの取扱について確認したところ、適正に運用されていた。

2 監査意見

- ・先進市視察は、現地調査として重要と考えるが、視察後の効果として、担当課との意見交換をしたり、市政に反映させる施策の提言や一般質問に生かすなど、一層の有意義な視察となることを期待する。
- ・今年度予定していたタブレット導入を延期したが、開始にあたっては利用目的と範囲、効果をよく検討されたい。

産業経済部

観光・シティプロモーション課

1 事務事業の執行状況

(1) 委託事業

- ・42件のうち3件について委託契約書等関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 工事の執行

- ・1件のうち1件について工事請負契約書等関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 補助金等の交付

- ・3件のうち1件について補助金交付申請書等関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(4) 備品の管理状況

- ・備品台帳は整備され、適正に処理されていた。
- ・既存1件について現物確認したところ、適正に管理・活用されていた。

(5) 公金マニュアルの運用状況

- ・2件の公金マニュアルの取扱について確認したところ、適正に運用されていた。

2 監査意見

- ・移住定住政策により今年度既に54人の移住があったことは、市単独でPRを始めたことや市外で活躍される掛川出身者や応援大使の協力によるシティプロモーションの成果と評価する。今後はさらに、若い世代の移住が進むよう効果的な活動を期待する。
- ・粟ヶ岳世界農業遺産茶草場テラスはオープン当初より多くの来訪者があったが、道路が狭いこ

とが課題である。待避所の整備や交通手段など検討を進められたい。

- ・今後、歴史的な施設の寄贈を受けるにあたっては、利活用と係る経費を考慮し慎重に判断されたい。
- ・掛川観光協会の自主事業の推進に対し支援を強化されたい。

協働環境部

生涯学習協働推進課

1 監査意見

- ・交付金交付については、金額の決定は地域間で不公平感がないようにするとともに、協働に資する活動を推進する基準を設け、地域の活動がより充実するよう支援に努められたい。また、効果検証を継続し、交付金の使途については客観的に検証できる方法も検討されたい。
- ・定年延長の影響もあり地域での担い手不足が危惧される。また、区長の負担も大きくなっているため、区長の負担軽減についても早期に検討されたい。
- ・バス交通対策については、転換期に来ている。地域の実情に即した公共交通のあり方について早めに決断をされたい。

文化振興課

1 監査意見

- ・文化振興は予算も付きにくく成果が見えにくい分野であるが、必要不可欠であり、幼少期から文化に親しむことは心豊かな人間成長に資することであるため、引き続き尽力されたい。
- ・集客力を高めるため、資生堂美術館アートハウスやMOA美術館へ協力要請し連携した活動を推進されたい。また、令和2年度に予定している茶エンナーレは、観光シティプロモーション課やお茶振興課とも連携し、ワンチームで取り組まされたい。
- ・公益財団法人掛川市生涯学習振興公社のあり方について、新たな方向性を示したことを評価する。今後は、文化振興を専門とする機能を果たしていけるよう指導を続けられたい。
- ・清水邸など入館者が少ない施設は、曜日を限定して開館するなど、効率的に運営し経費削減に努められたい。